

「10までの数の分解・合成」 練習教具



算数の学習はパターンの暗記ではなく、数や図形の関係・構造を理解して、思考力・表現力を育てることが目的です。「10までの数の分解・合成」は、数の構成を学ぶための小学校1年生の算数で重要な学習内容で、それをもとにして、たし算・ひき算の学習へつなげます。数の構成を十分理解しないまま計算の学習に進んだ子どもは、繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算でつまずくことがよくあります。

教具「こつぶちゃん」は、一方の隠れた数を当てることによって「数の分解」を理解し習熟させるための教具です。算数に始めて出会う子どもたちの数感覚を育て、考えることの楽しさを実感し、これから続く数と計算の学習でスムーズな理解につなげることができます。

繰り上がりのあるたし算

$6 + 8 = 14$

子どものノート

$8 + 5 = 13$	$7 + 2 = 9$	$5 + 6 = 11$	$5 + 9 = 14$	$4 + 6 = 10$
$5 + 7 = 12$	$9 + 5 = 14$	$6 + 8 = 14$	$4 + 5 = 9$	$5 + 8 = 13$
$2 + 9 = 11$	$7 + 6 = 13$	$8 + 6 = 14$	$7 + 2 = 9$	$3 + 7 = 10$
$5 + 5 = 10$	$4 + 2 = 6$	$10 + 3 = 13$	$6 + 4 = 10$	$8 + 2 = 10$
$9 + 4 = 13$	$3 + 1 = 4$	$9 + 2 = 11$	$7 + 4 = 11$	$7 + 8 = 15$
$8 + 3 = 11$	$7 + 3 = 10$	$2 + 8 = 10$	$10 + 7 = 17$	$8 + 7 = 15$
$7 + 4 = 11$	$1 + 2 = 3$	$2 + 8 = 10$	$8 + 7 = 15$	$8 + 8 = 16$
$3 + 7 = 10$	$4 + 7 = 11$	$2 + 9 = 11$	$9 + 4 = 13$	$4 + 1 = 5$

繰り下がりのあるひき算(減々法)

$14 - 6 = 8$

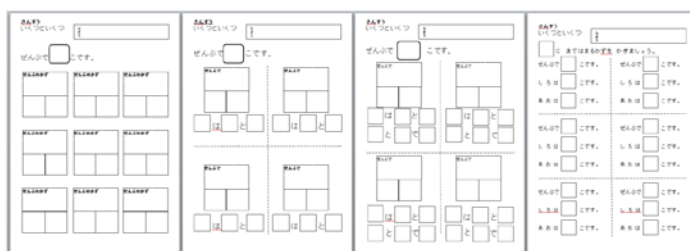
繰り下がりのあるひき算(減加法)

$14 - 6 = 8$

● 教具の特徴 ●



- ・数字や具体物と結びつけながら、数の分解を量感をもって考えることができます。
- ・玉の数をえることによって、10までの数の分解をすべて練習することができます。
- ・子ども一人ひとりの理解に合わせて、確実にできるようになるまで練習できます。
- ・数字や言葉による表現に慣れるために、併用の練習プリントを使うことができます。
- ・一人で使ったり、友だちとの数当てゲームとして使いながら繰り返し練習ができます。



「こつぶちゃん」は特許取得済、意匠登録済
特許番号 特許第5713456号(平成27年3月取得)
名称「数の分解用学習具及び数の分解用学習システム」
意匠登録番号 第1446914号